愛知県板金工業組合
発行 広報委員会
名古屋市昭和区北山町
3－8－6 〒466-0006
電話 052-732-1226

責任施工保証制度「再講習会」を開催

愛知県板は4月12日㈮、名古屋市南区笠寺の日本ガイシフォーラム第1・第2研修室において、責任施工制度の第1回再講習会を開催した。

この講習会を受講しないと保証書が発行出来ないと言う事もあり、県内各地から111名が受講した。

▶あいさつする小野寺理事長

県板事業では新年度に入っているが、この講習会は旧保証委員会と技術研究委員会が担当した。またこの講習会は過去のデータを整理する目的も兼ねている。

司会進行を宮下氏（東三支部）が務め、小野寺理事長が挨拶した後、蟹江氏（前保証委員長）のオリエンテーションから始まった。講習内容と講師は以下の通り。

・保証制度と改正の説明
　小野寺理事長
・PL保険内容の説明
　富士火災・田中氏
・金属素材について
　沼澤氏（知多支部）
・雨量計算について
　酒井氏（安城支部）
・風荷重について
　石原氏（岡崎支部）
・金属外装について
　村松氏（西尾支部）
・金属屋根について
　神谷氏（知多支部）
・雨樋の施工について
　澤田氏（中村支部）

全カリキュラム終了後、質疑応答の時間を設け、予定時間より少し早い午後3時40分閉講となった。

尚、第2回目の再講習会や新規講習会も今後計画していく予定である。

松浦（東三支部）

▶講習会風景

中部板金工業組合協議会 第35回通常総会開催 新会長に小野寺氏就任

4月17日㈬、中部板金工業組合協議会の第35回通常総会が三重県の四日市都ホテルで開催された。

▶小野寺新会長

愛知県板からは理事長はじめ9名が出席した。

来賓に石本全板連理事長、浅沼日板協専務理事、飯野保険組合専務理事が臨席し午後3時開会した。

山下三重県板理事長の開会のことばに続き、黙祷、横瀬会長（岐阜県板理事長）の挨拶の後、議長に神野氏（三重県板）が選出され議事に入った。

議案は24年度事業報告、24年度収支決算、25年度事業計画案、25年度収支予算案、役員改選の5議案であった。

役員改選では、我、愛知県板の小野寺俊一理事長が会長に就任する事も含め、全議案承認された。

その後、来賓の方々の挨拶、柳本氏（三重県板副理事長）による「第62回神宮式年遷宮について」の講演、懇親会等があり、午後5時過ぎ、全ての行事を終え散会となった。

松浦（東三支部）

名古屋板金連合会 通常総会を開催

平成25年4月20日㈯午後4時より名古屋市中区の中日パレスにおいて、名古屋板金連合会通常総会が、組合員37名と来賓3名の合計40名が出席し開催された。

▶あいさつする後藤会長

▶小野寺理事長

司会を斉藤裕之氏（東北支部）が務め、開会の辞の後、物故者に対して黙祷を捧げた。

議長に長谷川敏幸氏（千種支部）が選出され、議事に入り、後藤実会長が、24年度の事業報告、平成25年度事業計画案を述べ今年度は青年部への助成と部員の確保に力を

（2頁へつづく）

（1頁よりつづき）

入れる予定であると述べた。平成24年度決算書、平成25年度収支予算案、役員改選案すべて承認された。

引き続き来賓祝辞を愛知県板金工業組合理事長小野寺俊一氏に頂き「当面は組合員の増員が課題で、若い人を育てるのが大切である」と述べられた。また愛知県板金職業訓練協会会長の長谷川信俊氏は「訓練生の確保に力を入れたい」と話された。

午後5時から講演会に入り講師に社会保険労務士の青嶋輝氏が「労災保険の認定、事例についてQ＆A」と題して講演された。労働災害については身近な事であるので、質問が多く出て、時間を少し延長して講演は終了した。

午後6時20分から会場を移動し懇親会に入り、午後8時に終了した。

伊藤勲（中川・港支部）

鉛板の屋根の施工

3月16日㈯に野外民族博物館リトルワールドにトルコ・イスタンブールの街がオープンしました。この建物の工事に岡崎支部の㈱共立さんが携わりました。

着工前に現地イスタンブールまで出向き、トルコの職人の技術を視察したそうです。この建物は寺院と学校が合わさったようなものだそうで、当初、寺院部分が聖地メッカの方向に向いていないことをトルコ人に指摘され、設計変更を余儀なくされたことなど、日本人の私たちには思いもよらぬことが発生したりして苦労されたようです。一度見学に行ってみたいと思っています。みなさんもいかがですか。

安形（岡崎支部）

以下、㈱共立の石原晴久社長のコメントです。

この建物は博物館ですので、現地トルコの技術者（屋根職人）の技術にて施工しなければならない条件で、材料も現地の物を船便で輸入して建てたものです。矢作建設工業㈱の下で、現地の技術者に当社が協力して工事をさせて頂きました。この建物のドーム屋根は、厚み1.5ミリの鉛板（定尺1m×2m）を1枚ずつ手作業で葺いてあります。技術的に驚かされることが多くありました。最も驚いたことは、鉛板を切断するのにハサミを用いないことでした。「ブチャット」と呼ばれる刃物で傷を入れて裂いて切断します。ハサミで切断すると、刃のピッチで波型に歪みが出てしまうので、これが最も道理に合った切断方法です。それを吊子で留めて、ハゼを組んで丸桟のように加工して葺きます。平部は丸桟部をつぶして雨水の通り道を設けています。日本にも鉛の屋根は過去にはあったそうですが、今ではわずかに加賀藩の端竜寺仏殿（1744年頃）や金沢城関係の建物に見ることができる程度です。今回、貴重な外国の技術を体験する機会を頂きました「㈱名鉄インプレス」と「矢作建設工業㈱」に感謝いたします。

▶大ドームと平部はRC下地
小ドームはRCと野地板

4月度の動き

【県　板】

2日　福井県板50周年記念式典
於　ユアーズホテルフクイ
12日　保証制度「再講習会」
於　日本ガイシフォーラム
17日　中板協通常総会
於　三重
20日　名古屋連合総会
於　中日パレス
出席者　理事長
24日　中央会理事会
於　キャッスルプラザ
出席者　理事長
24日　訓練校入卒式
於　県訓練会館
出席者　理事長
25日　広報委員会
於　組合会議室
26日　名北基準協会総会
於　名古屋観光ホテル
出席者　専務

【各支部】

名古屋板金連合会
9日　三役会　4名
・総会打ち合わせ
20日　通常総会　40名
（中日パレス）

千種支部
6日　新組合員歓迎会　4名

東北支部
7日　総会　8名

西支部
27日　会合　7名

瑞穂支部
1日　定例会　16名

中川・港支部
25日　定例会
・24年度決算報告
・25年度予算案、他

尾張板金連合会
13日　イケダ展示会　6名

春日井支部
10日　定例会　8名
・各種報告、他

津島支部
5日　定例会　5名

西三板金連合会
3日　三役会　11名
25日　第1回役員会　40名
・25年度事業計画

岡崎支部
11日　役員会　19名
・年間スケジュール確認、等

豊田支部
6日　第1回役員班長会　22名
・県板等各種報告

西尾支部
22日　青年部定例会　7名

東三支部
8日　訓練校、技能検定関係者会議　14名
22日　三役会議　5名

編集後記

プロ野球が開幕して約一か月、晩酌しながらのテレビ観戦が毎日の楽しみになっている人も多い事だろう。

愛知県は中日のお膝元の為、当然ドラゴンズファンが多い。私の周りも例外でなく、義父・息子に弊社のスタッフもほとんどがドラゴンズファンである。

ただ申し訳ない事(?)に私は子供の頃からのジャイアンツファン。（大きな声では言えないが…）

ペナントレースが終了するまでは、おとなしく、秘かに、強い(?)巨人の試合結果を気にしながらニヤニヤする日々が続きそうである。

M

四月二十五日㈭
四九二号　編集会議
広報委員　5名
理事長出席
午後二時半開会
午後五時閉会